

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【公表番号】特表2007-511611(P2007-511611A)

【公表日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2007-017

【出願番号】特願2006-541555(P2006-541555)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/55 (2006.01)

A 6 1 K 31/343 (2006.01)

A 6 1 K 31/445 (2006.01)

A 6 1 K 31/135 (2006.01)

A 6 1 K 31/27 (2006.01)

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 3/04

A 6 1 K 31/55

A 6 1 K 31/343

A 6 1 K 31/445

A 6 1 K 31/135

A 6 1 K 31/27

A 6 1 K 31/137

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月7日(2007.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験体における肥満を処置するための組成物であって、該組成物は、有効量の1種以上のコリンエステラーゼインヒビターと1種以上の抗うつ剤との組み合わせを含む、組成物。

【請求項2】

前記1種以上のコリンエステラーゼインヒビターが、可逆性コリンエステラーゼインヒビター、偽性非可逆性コリンエステラーゼインヒビター、非可逆性コリンエステラーゼインヒビターおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記1種以上の可逆性コリンエステラーゼインヒビターが、タクリン、ドネペジル、エドロホニウム、ガランタミンおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

前記1種以上の偽性非可逆性コリンエステラーゼインヒビターが、フィゾスチグミン、エプタスチグミン、ピリドスチグミン、ネオスチグミン、ガンスチグミン、リバスチグミン、デメカリウム、アンベノニウムおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求

項 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記 1 種以上の非可逆性コリンエステラーゼインヒビターが有機リン酸塩を含む、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記 1 種以上の非可逆性コリンエステラーゼインヒビターが、サリン、メトリホナート、ソマン、タブン、フルオロリン酸ジイソプロピルおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記 1 種以上の抗うつ剤が、三環系抗うつ剤およびそのアナログ、セロトニン再取り込みインヒビター、セロトニン－ノルエピネフリン再取り込みインヒビター、ノルエピネフリン再取り込みインヒビター、ドーパミン再取り込みインヒビター、ノルエピネフリン－ドーパミン再取り込みインヒビター、セロトニン－ノルエピネフリン－ドーパミン再取り込みインヒビター、セロトニン再取り込み促進剤、セロトニンアゴニストおよびそのプロドラッグ、モノアミンオキシダーゼインヒビターならびにそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記三環系抗うつ剤およびそれらのアナログが、アミネプチン、アミトリプチリン、クロミプラミン、デシプラミン、ドキシピン、ドチエピン、イミプラミン、ノルトリプチリン、プロトリプチリン、トリミプラミン、アモキサピン、マプロチリン、シクロベンザプリンおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記セロトニン再取り込みインヒビターが、シタロプラム、エスシタロプラム、フルオキセチン、フルボキサミン、パロキセチン、セルトラリンおよびそれらの混合物からなる群より選択される選択的セロトニン再取り込みインヒビターである、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記セロトニン－ノルエピネフリン再取り込みインヒビターが、ミルナシプラン、ミルタザピン、ベンラファキシン、デュロキセチン、S 3 3 0 0 5、D V S－2 3 3（デスベンラファキシン）、D V S－2 3 3 S R、シブトラミンおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記ノルエピネフリン再取り込みインヒビターが、レボキセチン、アトモキセチンおよびそれらの混合物からなる群より選択される選択的ノルエピネフリン再取り込みインヒビターである、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記ノルエピネフリン－ドーパミン再取り込みインヒビターが、アミネプチン、ブプロピオン、G W 3 5 3 1 6 2 およびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記モノアミンオキシダーゼインヒビターが、ベフロキサトン、プロファミン、デプレニール、イソカルボキサジド、モクロベミド、パルジリン、フェネルジン、セレジリン、トラニルシプロミンおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 14】

有効量のコリンエステラーゼインヒビターと選択的セロトニン再取り込みインヒビターとの組み合わせを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記組み合わせが、有効量のガランタミンとシタロプラムとを含む、請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記ガラントミンが、4 mg / 用量の量にて投与されるのに適しており、前記シタロプラムが、20 mg / 用量の量にて投与されるのに適している、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記ガラントミンおよび前記シタロプラムが、1 日当たり 1 回投与されるのに適している、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 18】

前記組み合わせが、有効量のドネペジルとセルトラリンとを含む、請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 19】

有効量のコリンエステラーゼインヒビターとセロトニン-ノルエピネフリン再取り込みインヒビターとの組み合わせを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 20】

前記組み合わせが、有効量のリバスチグミンとベンラファキシンとを含む、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 21】

前記リバスチグミンが、0.4 ~ 6.0 mg / 用量の量にて投与されるのに適しており、前記ベンラファキシンが、37.5 ~ 225 mg / 用量の量にて投与されるのに適している、請求項 20 に記載の組成物。

【請求項 22】

前記リバスチグミンおよび前記ベンラファキシンの、1 日当たり 2 回投与されるのに適している、請求項 20 に記載の組成物。

【請求項 23】

前記コリンエステラーゼインヒビターが、リバスチグミン、ガラントミンおよびドネペジルからなる群より選択され、前記抗うつ剤が、ベンラファキシン、シタロプラム、エスシタロプラム、フルボキサミン、パロキセチン、デュロキセチン、セルトラリン、ブプロピオン、GW353162、S33005、DVS-233 (デスベンラファキシン)、DVS-233 SR およびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 24】

前記コリンエステラーゼインヒビターと前記抗うつ剤とが同時に投与されるのに適している、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 25】

前記組み合わせが、制御放出処方物において投与されるのに適している、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 26】

前記コリンエステラーゼインヒビターと前記抗うつ剤とが、異なる時に投与されるのに適している、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 27】

前記被験体が、処置の約 70 日後に、少なくとも 15 ポンドを減少する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 28】

前記被験体が、処置の約 100 日後に、少なくとも約 20 ポンドを減少する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 29】

有効量の食欲抑制剤をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 30】

前記食欲抑制剤が、アンフェタミン、メタンフェタミン、デキストロアンフェタミン、フェンテルミン、ベンズフェタミン、フェンジメトラジン、フェンメトラジン、ジメチルプロピオン、マチンドール、フェンフルラミン、フェニルプロパノールアミンおよびそれら

の混合物からなる群より選択される、請求項 29 に記載の組成物。

【請求項 31】

被験体において望ましい体重減少を達成するための組成物であって、該組成物は、有効量の 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターと 1 種以上の抗うつ剤との組み合わせを含む、組成物。

【請求項 32】

被験体において望ましくない体重増加を予防するための組成物であって、該組成物は、有効量の 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターと 1 種以上の抗うつ剤との組み合わせを含む、組成物。

【請求項 33】

前記被験体が過体重である、請求項 31 または請求項 32 に記載の組成物。

【請求項 34】

前記被験体が肥満である、請求項 31 または請求項 32 に記載の組成物。

【請求項 35】

うつ病を罹患していない個体における体重減少を促進するための組成物であって、該組成物は、体重減少を達成するのに十分な量の、1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターと 1 種以上の抗うつ剤との組み合わせを含む、組成物。

【請求項 36】

体重減少が必要な個体において体重減少を補助するための組成物であって、該組成物は、体重減少を補助するのに十分な量の 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターと 1 種以上の抗うつ剤との組み合わせを含み、該組成物は、連続した期間にわたって投与されるのに適している、組成物。

【請求項 37】

個体において安定な体重を維持するための組成物であって、該組成物は、有効量の 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターと 1 種以上の抗うつ剤との組み合わせを含む、組成物。

【請求項 38】

前記個体が肥満である、請求項 37 に記載の組成物。

【請求項 39】

体重を減少させる必要のある個体において体重を減少させるための組成物であって、該組成物は、該個体において体重減少を引き起こすのに十分な量の、1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターと 1 種以上の抗うつ剤との組み合わせを含み、該組成物は、連続した期間にわたって投与されるのに適している、組成物。

【請求項 40】

有効量の 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターと 1 種以上の抗うつ剤との混合物を含む、薬学的組成物。

【請求項 41】

前記 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターが、可逆性コリンエステラーゼインヒビター、偽性非可逆性コリンエステラーゼインヒビター、非可逆性コリンエステラーゼインヒビターおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 40 に記載の薬学的組成物。

【請求項 42】

前記 1 種以上の可逆性コリンエステラーゼインヒビターが、タクリン、ドネペジル、エドロホニウム、ガランタミンおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 40 に記載の薬学的組成物。

【請求項 43】

前記 1 種以上の偽性非可逆性コリンエステラーゼインヒビターが、フィゾスチグミン、エプタスチグミン、ピリドスチグミン、ネオスチグミン、ガンスチグミン、リバスチグミン、デメカリウム、アンベノニウムおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 40 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4 4】

前記 1 種以上の非可逆性コリンエステラーゼインヒビターが、有機リン酸塩を含む、請求項 4 0 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4 5】

前記 1 種以上の非可逆性コリンエステラーゼインヒビターが、サリン、メトリホナート、ソマン、タブン、フルオロリン酸ジイソプロピルおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 4 0 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4 6】

前記 1 種以上の抗うつ剤が、三環系抗うつ剤およびそれらのアナログ、セロトニン再取り込みインヒビター、セロトニン-ノルエピネフリン再取り込みインヒビター、ノルエピネフリン再取り込みインヒビター、ドーパミン再取り込みインヒビター、ノルエピネフリン-ドーパミン再取り込みインヒビター、セロトニン-ノルエピネフリン-ドーパミン再取り込みインヒビター、セロトニン再取り込み促進剤、セロトニンアゴニストおよびそのプロドラッグ、ならびにそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 4 0 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4 7】

前記 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターが、リバスチグミン、ガランタミンおよびドネペジルからなる群より選択され、前記 1 種以上の抗うつ剤が、ベンラファキシン、シタロプラム、エスシタロプラム、フルボキサミン、パロキセチン、デュロキセチン、セルトラリン、ブプロピオン、S 3 3 0 0 5、D V S - 2 3 3 (デスベンラファキシン)、D V S - 2 3 3 S R およびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 4 0 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4 8】

前記 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターがリバスチグミンを含み、前記 1 種以上の抗うつ剤がベンラファキシンを含む、請求項 4 0 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4 9】

前記 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターがガランタミンを含み、前記 1 種以上の抗うつ剤がシタロプラムを含む、請求項 4 0 に記載の薬学的組成物。

【請求項 5 0】

前記 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターがドネペジルを含み、前記 1 種以上の抗うつ剤がセルトラリンを含む、請求項 4 0 に記載の薬学的組成物。

【請求項 5 1】

前記 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターがガランタミンを含み、前記 1 種以上の抗うつ剤がデュロキセチンを含む、請求項 4 0 に記載の薬学的組成物。

【請求項 5 2】

前記 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターがガランタミンを含み、前記 1 種以上の抗うつ剤がパロキセチンを含む、請求項 4 0 に記載の薬学的組成物。

【請求項 5 3】

前記組成物が制御放出組成物である、請求項 4 0 に記載の薬学的組成物。

【請求項 5 4】

有効量の 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターと 1 種以上の抗うつ剤との混合物を含む、キット。

【請求項 5 5】

前記 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターが、可逆性コリンエステラーゼインヒビター、偽性非可逆性コリンエステラーゼインヒビター、非可逆性コリンエステラーゼインヒビターおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 5 4 に記載のキット。

【請求項 5 6】

前記 1 種以上の抗うつ剤が、三環系抗うつ剤およびそのアナログ、セロトニン再取り込みインヒビター、セロトニン-ノルエピネフリン再取り込みインヒビター、ノルエピネフリン再取り込みインヒビター、ドーパミン再取り込みインヒビター、ノルエピネフリン-ド

ーパミン再取り込みインヒビター、セロトニン－ノルエピネフリン－ドーパミン再取り込みインヒビター、セロトニン再取り込み促進剤、セロトニンアゴニストおよびそのプロドラッグ、ならびにそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 54 に記載のキット。

【請求項 57】

前記 1 種以上のコリンエステラーゼインヒビターが、リバスチグミン、ガランタミンおよびドネペジルからなる群より選択され、前記 1 種以上の抗うつ剤が、ベンラファキシン、シタロプラム、エスシタロプラム、フルボキサミン、パロキセチン、デュロキセチン、セルトラリン、ブプロピオン、GW353162、S33005、DVS-233（デスベンラファキシン）、DVS-233 SR およびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 56 に記載のキット。